



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 福

上場会社名 OCHIホールディングス株式会社

コード番号 3166 URL <http://www.ochiholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 越智 通広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 中村 尚生

TEL 092-711-9173

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,626	—	563	—	767	—	536	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 488百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	108.23	—
23年3月期第2四半期	—	—

※当社は平成22年10月1日付で単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,767	6,065	15.5
23年3月期	40,058	5,771	14.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,019百万円 23年3月期 5,592百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は平成22年10月1日付で単独株式移転により設立されたため、前第2四半期末までの実績はありません。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	77,000	4.8	680	12.9	1,100	0.4	640	2.0	107.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※1株当たり当期純利益につきましては、平成23年12月1日に予定しております株式分割考慮後の平成24年3月期第2四半期中平均株式数5,947,467株に基づいて算出しております。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	5,041,100 株	23年3月期	5,041,100 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	85,826 株	23年3月期	80,301 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,956,222 株	23年3月期2Q	— 株

※当社は平成22年10月1日付で単独株式移転により設立されたため、前第2四半期の期中平均株式数(四半期累計)は記載しておりません。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は平成23年12月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行なう予定であります。1株当たり予想当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に株式分割が行なわれたと仮定した株式数に基づき算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は平成22年10月1日に単独株式移転により越智産業(株)の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、参考として越智産業(株)の平成23年3月期第2四半期連結累計期間との比較を前年同期比として記載しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策等により企業収益も個人消費も持ち直しの動きが見られました。しかしながら、雇用情勢は依然として厳しい状況が続き、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、デフレや急激な為替変動及び株価の低迷等、先行き不透明な状況が続いております。

当住宅関連業界におきましては、一時東日本大震災の影響で一部の建築資材が品薄状態となり、住宅着工に遅延が生じたものの、住宅エコポイントや住宅ローンの金利優遇策の終了に伴う駆け込み需要の影響もあり、当第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は、前年同期比6.1%増と堅調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、地場ハウスメーカー、工務店を中心に業績を確保すると同時に、太陽光発電システムなど自然エネルギーを活用した商品や節電対策に有効な商品の販売拡充に努める一方で、グループ内の一部統合・再編を推進するなど、グループ経営管理の効率化にも取り組んでまいりました。また、グループ会社間及び事業部門相互のシナジー効果を実現する効率的なグループ経営により、安定した収益基盤の構築に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37,626,904千円(前年同四半期比16.0%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は563,387千円(前年同四半期比431.6%増)、経常利益は767,288千円(前年同四半期比122.2%増)、四半期純利益は536,400千円(前年同四半期比153.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <建材住設販売>

太陽光発電システムやLED照明器具などエコ関連商材の販売を強化する一方で、利益率の向上にも注力してまいりました。また、グループ内の一部統合・再編を推進するなど、グループ経営管理の効率化にも取り組んでまいりました。その結果、当事業の売上高は29,665,207千円(前年同四半期比4.0%増)、営業利益は422,028千円(前年同四半期比84.5%増)となりました。

#### <生活用品販売>

節電意識の高まりを背景として、電気を使わない石油ストーブが大幅に伸び、主力商品である暖房機器の販売が好調に推移しました。また、サーキュレーターや扇風機などの節電対策商品も好調に推移し、家庭用品の販売も順調に伸びました。その結果、当事業の売上高は3,639,706千円(前年同四半期比56.8%増)、営業利益は65,003千円(前年同四半期は営業損失70,866千円)となりました。

### <木材加工>

住宅エコポイント等の終了に伴う駆け込み需要の影響もあり、前連結会計年度(平成23年1月)に連結子会社となりましたヨドプレ(株)の受注が好調に推移しました。また、今年3月に新設しましたプレカット設備の加工効率が向上したことも業績を伸ばす要因となりました。その結果、当事業の売上高は4,431,531千円(前年同四半期比167.0%増)、営業利益は168,413千円(前年同四半期は10,462千円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は前連結会計年度末と比べ1,291,002千円(3.2%)減少し、38,767,992千円となりました。「商品」が544,723千円増加しましたが、「現金及び預金」が822,483千円、「受取手形及び売掛金」が762,610千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,584,548千円(4.6%)減少し、32,702,492千円となりました。「支払手形及び買掛金」が628,623千円、「役員退職慰労引当金」が281,488千円それぞれ減少し、また、有利子負債の圧縮に注力した結果、「短期借入金」が120,506千円、「長期借入金」が237,318千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ293,546千円(5.1%)増加し、6,065,500千円となりました。ヨドプレ(株)の株式を追加取得(完全子会社化)したこと等により「少数株主持分」が133,932千円減少しましたが、「利益剰余金」が486,792千円増加したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、新設住宅着工戸数が住宅エコポイントの終了に伴う駆け込み需要などにより堅調に推移したことなどを受けて、前回予想を上回る見込みであります。利益面につきましても、売上増に伴う売上総利益の増加に加え、売上総利益率の改善や経費の削減に取り組んでまいりました結果、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも平成23年5月12日公表の通期連結業績予想を上回る見込みであるため、修正を行ないました。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,078,482	3,255,999
受取手形及び売掛金	20,629,240	19,866,629
商品	2,233,273	2,777,997
未成工事支出金	262,273	327,890
その他	451,435	579,397
貸倒引当金	△303,576	△269,930
流動資産合計	27,351,129	26,537,983
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,133,965	5,857,963
その他(純額)	2,657,376	2,508,623
有形固定資産合計	8,791,341	8,366,587
無形固定資産	90,029	104,154
投資その他の資産		
その他(純額)	4,059,892	3,951,525
貸倒引当金	△233,397	△192,258
投資その他の資産合計	3,826,494	3,759,267
固定資産合計	12,707,865	12,230,008
資産合計	40,058,995	38,767,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,975,867	21,347,243
短期借入金	5,298,373	5,177,867
未払法人税等	249,152	96,731
賞与引当金	271,302	285,349
その他	748,686	698,452
流動負債合計	28,543,381	27,605,643
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	3,323,707	3,086,389
退職給付引当金	400,617	381,267
役員退職慰労引当金	446,103	164,614
負ののれん	675,131	537,282
その他	888,099	927,294
固定負債合計	5,743,659	5,096,848
負債合計	34,287,041	32,702,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	913,307	913,307
利益剰余金	4,236,132	4,722,924
自己株式	△62,150	△66,589
株主資本合計	5,487,289	5,969,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,970	50,095
その他の包括利益累計額合計	104,970	50,095
少数株主持分	179,693	45,761
純資産合計	5,771,954	6,065,500
負債純資産合計	40,058,995	38,767,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	37,626,904
売上原価	33,230,091
売上総利益	4,396,812
販売費及び一般管理費	3,833,425
営業利益	563,387
営業外収益	
受取利息	8,503
受取配当金	13,385
仕入割引	69,691
不動産賃貸料	44,087
協賛金収入	5,799
負ののれん償却額	151,320
雑収入	27,363
その他	33,751
営業外収益合計	353,904
営業外費用	
支払利息	43,178
売上割引	66,836
不動産賃貸費用	24,234
雑損失	15,753
営業外費用合計	150,002
経常利益	767,288
特別利益	
固定資産売却益	371
投資有価証券売却益	42
負ののれん発生益	31,965
特別利益合計	32,380
特別損失	
固定資産売却損	131
固定資産除却損	2,271
減損損失	223
特別損失合計	2,626
税金等調整前四半期純利益	797,043
法人税、住民税及び事業税	106,601
法人税等調整額	147,375
法人税等合計	253,976
少数株主損益調整前四半期純利益	543,066
少数株主利益	6,666
四半期純利益	536,400



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	543,066
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△55,020
その他の包括利益合計	△55,020
四半期包括利益	488,045
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	481,525
少数株主に係る四半期包括利益	6,520

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	797,043
減価償却費	212,478
減損損失	223
のれん償却額	13,471
負ののれん償却額	△151,320
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△74,786
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,047
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19,349
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△281,488
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△250
受取利息及び受取配当金	△21,888
支払利息	43,178
有形固定資産売却損益 (△は益)	△240
有形固定資産除却損	2,271
投資有価証券売却損益 (△は益)	△42
負ののれん発生益	△31,965
売上債権の増減額 (△は増加)	801,967
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△610,340
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△69,495
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	175,268
仕入債務の増減額 (△は減少)	△628,623
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	33,595
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	4,411
小計	208,165
利息及び配当金の受取額	21,888
利息の支払額	△43,399
法人税等の支払額	△287,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	△100,907

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成23年4月1日  
 至平成23年9月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△40,401
定期預金の払戻による収入	176,131
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1,250
有形固定資産の取得による支出	△60,058
有形固定資産の除却による支出	△1,400
有形固定資産の売却による収入	1,705
無形固定資産の取得による支出	△31,730
投資有価証券の取得による支出	△10,228
投資有価証券の売却による収入	74
関係会社株式の取得による支出	△107,601
長期貸付金の回収による収入	4,053
投資不動産の取得による支出	△2,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△85,000
長期借入れによる収入	650,000
長期借入金の返済による支出	△922,824
社債の償還による支出	△70,000
リース債務の返済による支出	△32,672
自己株式の取得による支出	△4,439
配当金の支払額	△49,343
少数株主への配当金の支払額	△885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515,164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△686,754
現金及び現金同等物の期首残高	3,895,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,208,324

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建材住設 販売	生活用品 販売	木材加工	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,564,584	3,639,689	4,422,630	37,626,904	—	37,626,904
セグメント間の内部 売上高または振替高	100,622	16	8,901	109,541	△109,541	—
計	29,665,207	3,639,706	4,431,531	37,736,445	△109,541	37,626,904
セグメント利益	422,028	65,003	168,413	655,445	△92,057	563,387

(注) 1 セグメント利益の調整額△92,057千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,101千円、その他の調整額19,043千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成23年7月29日に連結子会社であるヨドプレ(株)の株式を追加取得し完全子会社といたしました。その結果、「木材加工」セグメントにおいて、負ののれんが発生しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては31,965千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。